



僕と闘ってきた“相棒” My Guns

編集担当との打ち合わせで「アメリカで使ってきた歴代の銃の紹介やそれにまつわる話をまとめてみませんか？」という話が出た。気が付けば、アメリカでの生活も10年近くが経つ。そこで、今月は僕が初めて買った実銃から、今後使う予定の銃まで今までとこれからのストーリーをまとめてみた。

こちらが2010年に入手した中古のレースガン。買った時のそのままの状態、当時の流行だった横向きのC-moreマウントが懐かしい。後に銃を組み立てたガンスミス、マット・マックラーン氏本人に聞いたところでは、1996年くらいに作ったものということだった。

初めてのマイガン

実銃を初めて購入したのはちょうど10年前のことだ。僕はその3年前、当時アリゾナ州でシューティングスクールを営んでいた日本人インストラクターの黒猿氏の下で初めて実銃による射撃競技への参加を果たしていた。当時は

まだ高校生だったが、何としてもアメリカに定住し、もっと上の世界を目指そうと、そう誓った。その後、僕は社会人となって2年が過ぎ、いよいよ留学生としてアリゾナに行く準備が進みつつあることを黒猿氏に伝えていた。僕の目標を覚えてくれた彼は、すぐに練習と試合参加ができるようにと、周りで売りに出る

レースガンに目を配ってくれており、良い出物があつた時に連絡をくれたのだ。そのレースガンは、カナダ出身のガンスミス兼シューターでUSPSAナショナルズ(全米選手権)とIPSCワールドシュート(世界選手権)を同年に制したことで有名なマット・マックラーン氏が制作したものだ。当時で既に約15年が経過

した古いものだったが、状態は非常に良く、何よりも価格が2,000ドルとかなり安かった。既に資金をため込んでいた僕は、黒猿氏に国際送金し、晴れてマイガンを購入したのだった。流石はトップシューターでもあるガンスミスが作った銃ということもあり、僕が留学生だった約2年間、銃はトラブルなく4万発前後を撃つこ

とが出来たのだった。
アメリカの中古銃事情
さて、アメリカでの中古銃に関して少し話をしよう。ご存知の人も多いと思うが先に断っておくと、アメリカでは銃に関する法律は州ごとに大きく違う。ココで説明することは、アリゾナ州での話であり、他州では

まったく事情が異なることを覚えておいて欲しい。
ここアリゾナ州で中古銃を購入する場合、方法は大きく2つだ。1つは、ガンショップで売られている中古品を購入する方法。銃もしっかりと点検されており、安心できる。ただし、税金などが掛かり、価格は新品よりは安くても格安とは言えないかもし

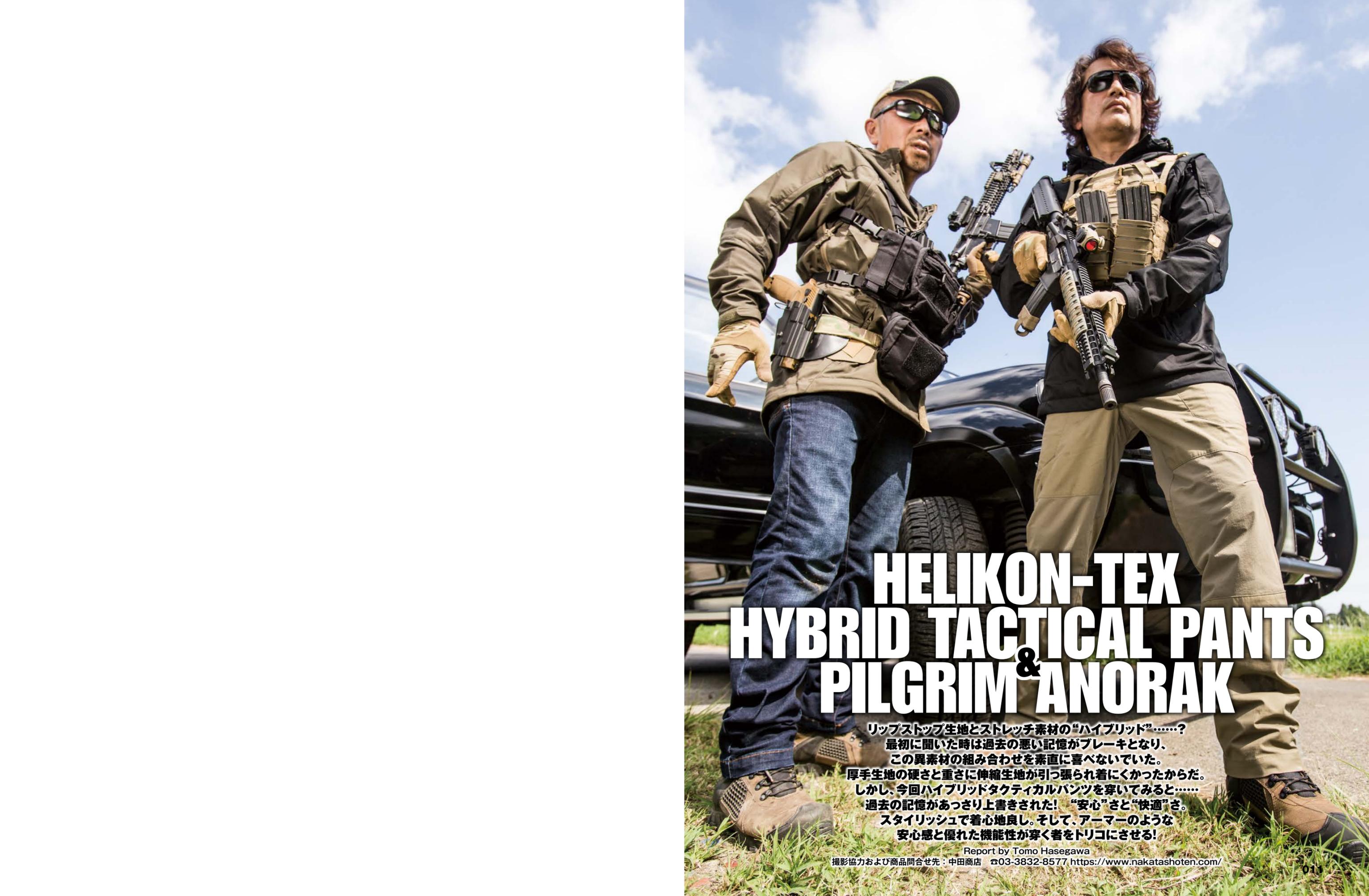


自分の実銃で初めて試合を撃つ筆者。この時はまだ何も分からず、周りからのサポートのお蔭で試合が撃てていた。



忘れもしない2013年のUSPSAナショナルズ。試合の出発前にクラックを発見し、結局その状態で試合に挑んだが、クラックは広がり続け、メンタル的な影響もあり、試合での成績は悲惨なものだった。写真は試合の時に泊まったホテルで撮影したもの。

こちらの状態は、僕の好みで普通の縦向きマウントに換装した後の写真。口径が.38スーパーコンブだったこともあり、エジェクションが安定していることからエジェクション・ボートの上部を覆うこのタイプのマウントでもこの銃は、ジャムを起こすことなく作動は完璧だった。



HELIKON-TEX HYBRID TACTICAL PANTS & PILGRIM ANORAK

リップストップ生地とストレッチ素材の“ハイブリッド”……？
最初に聞いた時は過去の悪い記憶がブレーキとなり、
この異素材の組み合わせを素直に喜べないでいた。
厚手生地の硬さと重さに伸縮生地が引つ張られ着にくかったからだ。
しかし、今回ハイブリッドタクティカルパンツを穿いてみると……
過去の記憶があっさり上書きされた！ “安心”さと“快適”さ。
スタイリッシュで着心地良し。そして、アーマーのような
安心感と優れた機能が穿く者をトリコにさせる！

Report by Tomo Hasegawa
撮影協力および商品問合せ先：中田商店 ☎03-3832-8577 <https://www.nakatashoten.com/>



Report by Ken Nozawa

S&W M649 Bodyguard .38spl

S&W社の名作小型リボルバーM649 ボディーガード。
KENの若き日のエピソードとともにその名銃の魅力に迫る――。



米国の正義を護るFBI 彼らが愛用するGUNIは……?

“懐かしの名銃”という企画だから……というワケではないのだけど、ここで紹介するGUNたちには、どれも思い出深いものがある。そんな理由から今回もまたまた、昔話からスタートとなるので付き合っておくれ。

米国の犯罪史に名を残す一人に“ジョン・ディリンジャー (= ジョン・デリンジャー)”がいる。多くの犯罪、銀行強盗を繰り返し、1934年にFBIに射殺され命を落とした。生前はFBIから“Public Enemy No.1 (社会の敵ナンバーワン)”と呼ばれた人物だ。生まれは1903年なので時代的には私の祖父に近い。事実、祖父は1897年生だった。ジョン・ディリンジャーに関しては何度も映画化されており、2009年にはジョニー・デップ主演で『パブリック・エネミーズ』

が公開されているので、覚えているガンファンは多いと思う。

さて。その昔、1979年12月。元FBIエージェントのジーン・ジョーンズ宅でクリスマスパーティーが開催された。ジーンの友人たちが集まり、にぎやかな席が設けられた。

ジーンは、友人であるイチローさんも招待したが、私は、イチローさんの“金魚のウンコ”として出席することが許された。そうなんと、もう“金魚のウンコ”と言えども、そうとうにリッパ、超ラッキーであります。

パーティー会場であるジーンの家に着ると、すでに30名ほどの紳士、淑女が集まっており、服装はカジュアルでありながら雰囲気は上流階級そのものだった。漂う空気が違うのだ。パーティー会場では参加者それぞれの左胸に、自身の名前を記

シルバーに輝くのはS&W社製M649 ボディーガードだ。そして横に並ぶ黒い1挺はコルト社製のディテクティブスペシャル。どちらも時代を創り、築いた名銃だ。

COLT GOVERNMENT Pre'70 REALSTEAL Ver.



コルト・ガバメント Pre'70
 (リアルスチールバージョン)
 ●全長:約216mm ●装弾数:21+1発
 ●銃身長:約114mm ●価格:4万1,800円
 ●重量:約887g ●絶賛発売中!!

「APC.45M1911 (オートマチック・ピストル・キャリバー.45モデル・オブ1911)」の制式名で採用した米軍は、1922年から1923年にかけていくつかのマイナー・チェンジを施して徐々に改変を進め、1926年にモデル・ナンバーを「M1911」から「M1911A1」に改めた。米軍では、1985年にベレ

M1911は、米軍が制式採用した次の年、1912年から「ガバメント」の名前で市場に供給され「1911A1」へのマイナー・チェンジに伴って、1924年からA1仕様のガバメントに切り替えられた。軍用のM1911、M1911A1とコマーシャル・バージョンのガバメント・モデルは、まったく同じ外観、パーツ構成だったが、シリアル・ナンバーは別系統とされ、コマーシャル・バージョンのシリアル・ナンバーには、「C」のアルファベッ

ョンが作られるようになったこともあって、細かなマイナー・チェンジが続けられた。とくに、第二次世界大戦後は、サム・セフティの指かけ部分が大型化されたり、フラット・サイドのハンマーが標準になったりと、主にデザイン面での近代化が進められている。ガバメントの近代モデルと言えば、1970年代に生産が始まった「MKIVシリーズ」70 (以降:S'70) が、その象徴とされているが、1960年代後半には、S'70のベースともいえるガバメントが市場に供給されていた。コレクターの間で「プレ'70」の名前で呼ばれているバリエーションだ。「プレ (Pre)」は、前、先、予め、などの意味で、時間の経過に当てはめると「以前」というような意味になる。つまり「プレ'70」は、

良質のマテリアルとクラフトマンシップが作りだした名作。

1911年に完成され、1世紀を超えた現在も、実戦を見据えるプロのシューター達から絶大な信頼を寄せられるコルトの傑作セミオート、M1911。

ッタM92F(S)に米軍制式拳銃の座を譲るまで、このM1911A1をそのまま使い続けた。現在はその近代モデルを部分採用している。

トが付けられていたことが知られている。

米軍用は、M1911A1以後マイナー・チェンジされることがなかったものの、コマーシャル・バージョンは、口径や精密射撃用のスペシャル・モデルなど、いくつかのバリエーシ



シンプルでスマートなガバメントらしいシルエットのプレ'70。フロント・サイトは、S'70に引き継がれたランプ・タイプが採用されている。

メタル・チャンバカバの刻印も、S'70以前の小さな文字で刻まれた使用カートリッジ表示を再現している。



TOY GUN
REPORT

GAS BLOWBACK

Mk18 Mod.1

- Mk18 Mod.1**
- 全長:715mm/790mm
 - インナーバレル長:250mm
 - 重量:2,900g(※実測値)
 - 装弾数:35発
 - 動力源:東京マルイ純正ガス推奨
 - 初速:73~75m/s(※実測値/0.20gBB弾、気温30℃)
 - 価格未定

東京マルイ ☎03-3605-1113
<http://www.tokyo-marui.co.jp>
 Photo & Text by Takeo Ishii

大人気のNAVY SEALs御用達カービン、Mk18 Mod.1がとうとう東京マルイ/ガスブロM4シリーズに登場！次世代電動ガン同様の目をみはる美しさ。撃てば撃つほどに実感できた確かな完成度。そして至高の満足感……！

米軍制式採用銃M4A1カービンをさまざまなアクセサリキット群でUPグレードする「SOP MOD (=特殊作戦装備改修) 計画」

の組織にまとも指揮命令系統を一本化する改革の一環として「NSWC (=米海軍洋上戦闘セン

検など、暗い場所・狭い場所でも取り廻しが容易で、さらに現代CQB戦術では必須装備となっていくつつあるサブレッサー等を装着した状態でも全長を抑えるための10.3イン

「21世紀のNAVY SEALs」を象徴する短銃身CQBカービン

は、米軍はそれまで陸・海・空・海兵の全4軍がそれぞれ独自に編成していた特殊部隊を「U.S.SOCOM (=合衆国特殊作戦統合軍)」という一

ター) クレーン師団)の主導によって進められた。通路やドアが入り組む市街地や、山岳地帯の洞窟、あるいは船舶の臨

チ短銃身を備えた「CQBR (=近接戦闘用レシーバー)」が加わったのは2000年代初頭で、これはちょうどSOPMOD計画が「ブロック1」から

「ブロック1.5」に移行する頃だった。そしてほぼ同時期に海上での船舶臨検を担当するSEALs部隊に於いてM16A1のロアレシーバーに初期のCQBR (恐らくブロック1) とクレーンストックを装備した銃 (ロアレシーバー右側に米海軍特有のレーザー刻印アリ) の運用が確認され、これが「Mk18 Mod.0」とされている。因みに米陸軍では装備品の多くが「M (モデル) OO」なのに対し、米海軍では「Mk (マーク) OO」と呼称される。これは「アメリカ建国以来

続く伝統的な対抗意識」の現われらしい。

2007年からは「M4A1カービンSOPMODブロック2」がU.S.SOCOMの標準装備となり、これに「CQBRブロック2」のアップパーを搭載したものが「Mk18 Mod.1」としてNAVY SEALsで使用されるようになった。数多く配信される「ミリフォト」でも隊員が携えている例が数多く確認されて

おり、以来、「もっとも人気があるM4A1のスタイル」として世界中のサバイバルゲイマー垂涎のアイテムとなった。ただし「Mk18 Mod.1」に関する公式な資料や記録は存在せず、さらにNAVY SEALs隊員には銃の仕様変更

やアクセサリの搭載にも個々の自由裁量がかなり広範囲に許されているため、Mk18 Mod.1の基本形はコレ！と見きわめる材料もほぼ皆無らしい。そんなミステリアスな「正体不明感」もまた、Mk18 Mod.1の人気を底上げし魅力を増している要素なのかもしれない。

フリップアップ式のフロントサイトは軽量化フルート溝が入ったタイプ。4ブロング・フラッシュハイダーは14mm逆ネジで固定されており、さまざまなサブレッサー等に付け替える事ができる。

RAS IIハンドガードはチャコールブラウン、COLT標準タイプのレシーバーはマットブラック、クレーンストックはタン、そして細かいパーツ類はパーカーグレイ。ミリタリーファンを魅了する4色のコントラスト。CQDタイプのスリングスウィベルはレール上のどの位置にも移動できる。

DANIEL DEFENCE, INC. (ダニエルディフェンス) 社との正式契約に基づいてリアル再現されたRAS IIハンドガード。レール部のエッジが非常に鋭いので、オプションを取り付けない部分へのレールカバー装着をお勧めする。

ボルトが実際に作動することの証明ともいえる「収まり位置の深さ」もまたガスブローバックの醍醐味だ。Mk18 Mod.1を欲しがるコダワリ型のファンには、まさに待望の光景！

遂に日の丸オスプレイ部隊誕生! 輸送航空隊V-22

遂に陸上自衛隊にV-22オスプレイが配備された。これまで陸自にはなかった機体を運用するため、輸送航空隊というオスプレイ専門部隊も立ち上げた。トータル17機となるオスプレイは、段階的に同部隊へと配備され、暫定配備期間である5年をかけ、教育を実施し、部隊の戦力化を急ぐ。その第一歩となったオスプレイの到着を追う!



木更津駐屯地に到着した日の丸オスプレイ1号機。日本向け生産の5号機(JG-1705)がまず引き渡された。岩国から木更津までのフェリーはベル社のパイロットの手で行なわれた。



これまで陸上自衛隊のヘリは、濃緑色をベースに迷彩柄となっていたが、オスプレイは洋上を飛行することが前提のため、薄い灰色を基調としたカラーとなった。



遂に陸上自衛隊にV-22オスプレイが配備され、訓練が開始された。ひと足先にアメリカ国内にて日本向けオスプレイ数機が引き渡されており、パイロットや整備員の教育に使われてきた。そのうちの2機が自動車運搬船「グリーンリッジ」にて、5月8日に日本へやってきた。荷下ろしされたのは在日米海兵隊岩国基地(山口県)だった。ここから暫

定配備先となる木更津駐屯地(千葉県)に、製造元であるベル社のパイロットの手でフェリーされる予定であった。しかし、新型コロナウイルスの影響で、パイロットが来日できず、岩国基地から動けない状態がしばらく続いた。

7月3日、機番JG-1705号のオスプレイが突如飛行試験を実施。十数分という短い時間であったが、初め

て日本の空を飛んだ。

もろもろ準備が整い、6日に輸送予定と発表されたが、悪天候のため延期に……。この時の雨は、後に「令和2年7月豪雨」と命名されるほどの大災害となった。

8日に輸送日が改められたものの、この日も悪天候のため延期となる。

3度目の正直とばかりに、10日に設定されたものの、この日も岩国は

朝から雨が降っていたので「また延期か……」と思われていた。しかし、14時10分ごろ、雨で視界がかすむ中、なんとか離陸。そして16時を少し回った頃に木更津駐屯地へと無事到着した。実は木更津市でも到着直前で雨が降っていたのだが、機体が着陸する頃には雨もやみ、太陽の光が差しこんできた。

そして7月16日、2機目となる機

番JG-1701も木更津駐屯地へとフェリーされた。下一桁が“1”となっていることから分かるように、この機体が日本向けオスプレイの初号機となる。だが、配備の順番は、先述したように、5号機、そして初号機の順番となった。

陸自に配備されているヘリコプターは基本的に濃緑を基調とした迷彩

色で塗られている。しかし、オスプレイについては、水陸機動団等諸部隊を島嶼部へと輸送するのが主たる任務であり、そのために洋上を飛行することになるので、迷彩色では逆に目立ってしまう。そこで、下から見上げた際は空と溶け込ませるため白っぽい灰色とし、機体上部は、敵偵察機が見下ろした際に海に溶け込

ませるため青色とした。

オスプレイの配備に先立って、2020年3月26日、第1ヘリコプター団(団本部・木更津駐屯地)に輸送航空隊を新編した。この部隊が日本唯一のオスプレイ部隊となる。4月5日、岩田和親防衛政務官より初代隊長となった不破 悟1等陸佐へと隊旗が授与された。

華々しい幕開け、と行きたいところであるが、1番重要な問題が解決されていない。水陸機動団は、相浦駐屯地(長崎県)に置かれている。彼らが迅速に展開できるように輸送航空隊もそばに置かなければならない。そこで、佐賀空港(佐賀県)を候補地としたが、地元はオスプレイの配備に否定的で交渉は難航している。



Go to 小西屋!

退くことは我知らず奥久慈突撃熱中編

写真と文 織本知之 撮影協力/コンビニエンス小西屋

千葉隊長「ミリタリーといえば戦車だよな！」
シェフ狩野&広報オリモ「けだし当然！ そもそも戦車とE〇が嫌いな男子がいるとは思えません！」
千葉隊長「うむ。小うるさいコンプ

ライアンスがついて回るこの現代社会によくぞ言った。この文責はすべて諸君の責任とし、編集部は一切責任を持たない。さて、ところでキミたちの好きな戦車映画は？」
シェフ狩野「M4シャーマンに乗った5人の男たちが300人もの武装SS大隊を相手に善戦した2014年の傑作映画「フューリー」

です！プラビガカッコイイ！」
広報オリモ「やはり『馬鹿が戦車でやって来る』こそ至高でしょうな！山田洋二監督、ハナ肇、岩下志麻主演という豪華キャスト。後の世に与えた影響も甚大な1964年の快作！」
シェフ狩野・広報オリモ「で、隊長は？」
千葉隊長「君たちは何も分かっていないようだ。その性根を叩き直すた

めに最適な場所に心当たりがある。そこで諸君らに当主より戦車道精神を注入してもらおうではないか。さあもたもたするな！ 全員戦闘車輛（ポコポコの1,500ccの貨物）に乗車！」
シェフ狩野・広報オリモ「で、いっただコへ行くんですか？」
千葉隊長「Go to ガールズ&パンツァーの里へ聖地巡礼（茨城県北部）」



お店に一步踏み込めば...

ガルパンファンよ見よ！ この景色！ え？ 写真が細かくて良く見えませんか？ 失礼しました……。



「人は失敗するイキモノだからね。大切なのはそこからなにかを学ぶってことさ（継続高校戦車道チーム隊長・ミカ）」の言葉を励みに一步踏み込みクローズアップ！

あ、田んぼの茂みに...

茨城県名物の偽装陣地（嘘）に設置された対戦車砲を目印に目的地到着。さすがガルパンの里（白眼）。



本当はオレンジの洋瓦と看板で非常に分かりやすい「コンビニエンス小西屋」なのであります。が、ミリタリー眼の諸兄はむしろ擬装陣地のほうに眼の焦点が結ばれることもあろうかと……。



コンビニエンス小西屋の所在は茨城県久慈郡大子町野宮1589-2。営業時間は朝8時から20時。電話は0295-72-3883。そして、店舗横にはなぜか伊戦車L6/40。



大洗女子学園戦車道バレー部チーム89式中戦車初期バージョン。対アンツィオ高校戦では4輜を撃破する攻撃精度を発揮、最後はペパロニが搭乗する車輛をも撃破。つまり砲手・佐々木あけびがカワイイ。がんばれアヒルさんチーム！



大洗女子学園 あんこうチームIV号戦車D型のハッチからは低血圧の天才操縦手冷泉麻子が見える。車長のみほの意図通りにIV号戦車を自在に操る冷泉麻子の操縦技量の高さが戦場の鍵を握ることしばし。ケーキを食べること寝ることが大好きなだって。僕も一緒さ。



やや！ 黒森峰女子学園の駆逐戦車ヤークトバンターではありませんか。低い姿勢の固定式戦闘室にティーガーIIと同じ88mm砲を搭載し、バンター由来の優れた機動性を併せ持つ高性能な駆逐戦車として皆さんお馴染みですね。前面上部装甲は30度の角度で配置され弾道上の装甲の厚みを160mmに増やしており、T-34の85mm砲およびM4シャーマンの75mm砲では正面装甲は貫通不能であったそうでもあります。アオスゲツアイヒネット。



毎年3月に硫黄島で日米合同の戦没者慰霊祭をやっているんですよ。ご存知の通り硫黄島では、過去に日本軍守備隊と米海兵隊が激戦を繰り広げ、日本軍はほぼ全員が玉砕。米軍の死傷者の数もおよそ29,000人に達しました。要は夥しい数の人命が散った場所なんですね。これは僕が2016年の合同慰霊祭を取材した時の話です。

硫黄島自体は今、海上自衛隊の基地になっていて、僕は嘉手納から米海兵隊の輸送機に乗せてもらって島に入りました。

取材仲間内では「硫黄島は見る」って言うんです。僕もその話は聞いてたし、とくに島内で一番人が多く亡くなったのは上陸作戦の舞台となったビーチだから「ビーチの砂は絶対に持ち帰っちゃダメだ。なぜならその砂の一粒一粒に御魂が染み込んでいるからだ」と。この耳慣れない申し送り事項は、硫黄島勤務の海上自衛官の間でも徹底されているほどで、謂わば硫黄島の常識なんです。

慰霊祭が終わって、嘉手納に戻る輸送機の出発まで時間があって、僕は摺鉢山に登りました。あそこは凄いですよ。壕を覗くと、飯盒なんか、蹴られたみたいに

ひっくり返ったまま残ってて、当時の混乱の様子を今も留めているんです。その後、ビーチも一通り歩きました。

嘉手納に戻ったのが夜の8時くらいで、その日は那覇のホテルに泊まりました。寝る準備を済ませてベッドにもぐると、午前0時を回った頃だったかな、ドドドド！ って、突然部屋の壁を叩かれたんです。最初は、隣部屋の宿泊客がめんどくさい人なんだな、くらいに思っていました。それでも寝ようとすると、ドドドド、ドドドドってその音が移動して

いくのが分かったんです。「いや、これは普通じゃない」と思った瞬間、僕は金縛りにあいました。すると、ドドドドドドドド……！ って、部屋の周囲をグルグル回り始めたんです。「な、なんだ?!」

その時ふっと頭をよぎりました。「硫黄島から連れてきちゃったな」って。と同時に、ジャーナリストの性がむくむく頭をもたげてきて「日米の英霊の皆様、本当にお疲れ様でした。僕のほうでも機会があれば是非お話を伺ってみましたのですが、但し、こういった形の訪問は望んでません。なので今夜はこのままお引き取り願えますか」と、今思えばアホみたいで



すけど、心の中で哀願したら、嘘みたいに金縛りがとけて、ドドドドって音もビタリと止んだんです。翌朝、昨夜の不思議な出来事を思い出しながら身支度を整え、最後にブーツを履こうとすると、左足のソールに気づかないうちに穴が空いて

ました。そして傾けるとその穴から、ササーッ……って、かなりの量の砂が出てきたんです。「ああ、やっちゃったな」と思いました。

今度硫黄島を再訪する機会があったら、線香と御神酒くらいは持って、あの日の無礼を詫言いたいですね。



工科学学校の教員をやっていた時の体験なんですけど。ある日、営内を歩いていたら、暗い階段の踊り場に女の子がいたっていうんです。それが、おかつば頭で、着ている振袖の花柄まではっきり見えて、幽霊というより普通の人間みたいにそこにいて、彼のほうには全然注意を払おうともせず、無心に撞

企画集団オフィス・デューク代表 DUKE廣井氏の恐怖の聞き語り 手毬を撞く女の子

横須賀の武山駐屯地に陸上自衛隊少年工科学学校（2010年3月、陸上自衛隊高等工科学学校に改編）っていうのがあるんですけど、そこで昔から語り継がれている怪談が一つあって……。

これは自衛隊退役幹部から聞いた話です。25年くらい前に、彼が少年

工科学学校の教員をやっていた時の体験なんですけど。

ある日、営内を歩いていたら、暗い階段の踊り場に女の子がいたっていうんです。それが、おかつば頭で、着ている振袖の花柄まではっきり見えて、幽霊というより普通の人間みたいにそこにいて、彼のほうには全然注意を払おうともせず、無心に撞

く手毬のトーン、トーンって音まで聞こえた、って。「ついに見たか」というのも、その語り継がれている怪談っていうのが、男しかいないはずの少年工科学学校の「階段の踊り場に手毬を撞く女の子が出る」ですから。当然彼もそれを聞いていたけど、

実際に見ると、不思議と怖くない。むしろ女の子に興味を湧いてきて、手毬を撞く音が聞こえるってことはエーテル体（霊的身体）ではなく質量がある存在なのかとか、あの着物の光沢は絹だろうからきっと良い家柄の子なんだろうとか、手毬ってあんなに上手に撞けるものなんだとか、あれこれ考えながらしばらく女の子を見つめていたそうです。

すると、女の子がポーンと手毬を撞き損じたんですって。それでコロコロ転がる手毬を追って女の子の姿が見えなくなると、彼はあとを追うように駆け寄り、踊り場に立ったそうですが、もう誰もいなかったっていうんです。

後日、彼はいろんな人に、その手毬を撞く女の子のことを訊いて回ってはみたものの、結局学校との因縁は分からずじまい。

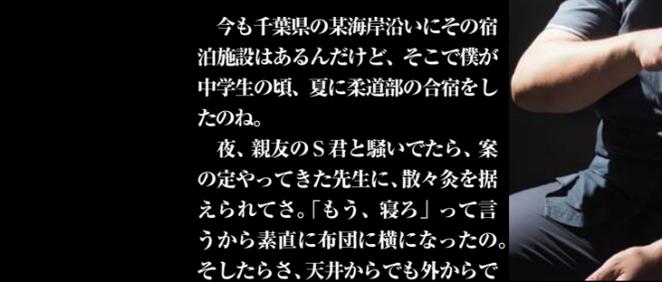
6歳くらいの、とても綺麗な女の子だったそうですよ。

サバイバルゲームフィールド PARADOX代表 久場政人氏の恐怖体験 夜の森で 対峙したのは……

25年前、まだ世の中にサバゲフィールドなんてなかった時代。市原か茂原にあった森を地主さんがご厚意で解放してくれて、夏場だったんで、サバゲ仲間夕方から集まって夜戦メインのゲームをしたの。最終戦は長くて30分あった。当時は光るマーカーなんかなかったから、夜の森の中は、ほとんどなにも見えなかったね。それでも息を殺して索敵していると、斜め向こう10mくらい先に人の気配を感じたの。そしたら枝をパキッ……、パキッ……と踏み折る足音を立てながら、真っ直ぐこっちに向かって来るんだよ。結局4〜5mしか離れてない場所

コンバットマガジン編集次長 千葉隊長の恐怖体験 合宿所の寝間に 響いた足音

今も千葉県某海岸沿いにその宿泊施設はあるんだけど、そこで僕が中学生の頃、夏に柔道部の合宿をしたのね。夜、親友のS君と騒いでたら、案の定やってきた先生に、散々灸を据えられてさ。「もう、寝ろ」っていうから素直に布団に横になったの。そしたらさ、天井からでも外からで



った大切な99式短小銃が空襲で燃えてしまわないよう、集めて一箇所に埋めておく、だったの。で、みんなで掘った穴の中に小銃を入れて、また土を被せて埋めたんだって。空襲の後で掘り起こせばいいんだから。壕に避難すると空襲が始まって、それはそれは熾烈をきわめたらしい。やがて空襲も終わって、壕から戻ると、辺りは一面の焼け野原。みんな

祖父が教えてくれた 幽霊より怖いもの カメラマンにしてAPS本大会ファイナリスト 広報オリモトの恐怖の聞き語り

先の戦争の末期、鉄道連隊に所属したうちのおじいちゃんから聞いた話なんだけど。今の千葉公園に当時連隊の演習場があった。ある日、空襲警報が鳴ったんだって。その頃の99式短小銃には対空照尺っていうのが付いてて、照尺にグラマンを捉え、見越し射撃を一斉にすれば墜とせるという訓練はしてたものの、なんせ普段は鉄道いじってるエンジニア畑の人間ばかりだから、実際は当たらないだろう、と。

そこで、小隊一同なにかができるのか考えて、出した答が、陛下から預か

こにいるの?!」って見に行ったら、誰もいないの。さっさと撤収したんだと思、駐車場に戻って仲間に聞くと、誰もそんなところに行っていない、っていうのよ。それで、その日は「そんなこともあるんだな」くらいに思っ、帰宅したんだけどね。でも後日ね。またサバゲ仲間と同じ森に行ったのよ。今度は昼間から。そしたら、あの夜、自分が人の気配を感じたのとまったく同じ場所に、お地藏さんが一体安置されてたの。「じゃあ、あれはお地藏さんだったの……？」

そんな経験なら一度だけあるね。もなく、みんなで寝てる部屋の空間から、ザッ、ザッ、ザッ、ザッ！って、大人数で歩く足音が聞こえてきたの。部屋でまだ起きてたのは、僕とS君だけ。でもまた騒いで怒られるとやだし、しおらしく小声で「なんかすげえ足音が聞こえない？」ってS君に訊くと、「うん。めちゃくちゃ人が歩いてるな」って。時間は午前2時過ぎだったけど、金縛りにあうでもなく、ただ足音が、ザッ、ザッ！ってするだけで、とくに怖いとも思わず。その晩は練習

の疲れもあって、いつの間にか寝ちゃったんだけどね。翌朝起きて、確認がてらS君に「昨日の夜すげえ足音がしなかった？」って訊くと、「したけど、君が起きないから、俺にしか聞こえてないと思った」って。でも結局、僕とS君以外のほかの部員は、誰一人その足音を聞いてなかったの。ほんとすげえ足音だったのに。

あそこは戦争遺跡で知られる大房岬や沖ノ島と海岸続きだから、あの晩は兵隊さんたちが歩いてきたのかな、って、今はそう思うんだよね。

った大切な99式短小銃が空襲で燃えてしまわないよう、集めて一箇所に埋めておく、だったの。で、みんなで掘った穴の中に小銃を入れて、また土を被せて埋めたんだって。空襲の後で掘り起こせばいいんだから。壕に避難すると空襲が始まって、それはそれは熾烈をきわめたらしい。やがて空襲も終わって、壕から戻ると、辺りは一面の焼け野原。みんな

で、肝心の小銃を埋めた場所の、その目印にした兵舎までもが焼失。更に悪いことに、エンジニア気質が裏目に出て、きっちり正確に埋めたもんだから、穴の気配すら窺い知れず。結局一小隊分百何十丁の小銃は土に埋まったまま、終戦を迎えたんだって。おじいちゃんをよく言った。「知之、幽霊なんかよりアメリカ軍の空襲の方がずっと怖いぞ。半端じゃねえぞ。だって全部無くなっちゃったんだから」って。

「もう、無理……!」。怪談が怖くて、ICレコーダーを手にしたまま絶叫する筆者。

「もう、無理……!」。怪談が怖くて、ICレコーダーを手にしたまま絶叫する筆者。

